

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19233
課題名	乾癬における表皮構築メカニズムに関する研究
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025年 3月 31日
研究の対象	1990年4月～2020年3月に旭川医科大学病院皮膚科で皮膚切除術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：診断名、病理診断名、年齢、性別） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：皮膚） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>乾癬は代表的な皮膚病の一つで、臨床的に5つの病型(尋常性乾癬、関節症性乾癬、滴状乾癬、乾癬性紅皮症、汎発性膿疱性乾癬)に分類され、皮膚症状の重症度や関節症状などに応じて治療法が選ばれています。</p> <p>最近、炎症に関わる成分を特異的に抑える効果のある生物学的製剤が使用できるようになり、乾癬の治療が十分できるようになってきましたが、皮膚で起こっていることについては十分解明されていません。</p> <p>今回の研究では、すでに保管されている試料(病理診断をおこなった後の余った皮膚)を用いて、どのような変化が起きているのかを明らかにしたいと考えています。この結果をもとに、乾癬における新しい治療法を開発したいと思います。</p>
研究の方法	すでに手術等で切除し、保管されている試料(病理診断をおこなった後の余った皮膚)を用いて、免疫染色(どのような成分が皮膚に出現しているか明らかにする実験)を行い、乾癬の皮膚でどのような変化が起きているのかを明らかにします。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  北海道旭川市緑が丘東2-1-1-1  旭川医科大学病院国際医療支援センター (0166-68-2526)  担当者：本間 大  研究責任者：  旭川医科大学病院国際医療支援センター  教授・本間 大</p>